

超極早生
イタリアン 「サクラワセ」 を活用しましょう

サクラワセの登場で東北地方にも水田裏作がよみがえってきました



水稲立毛中(東北中部平坦地9月中旬、中部以南では9月下旬～10月上旬、あるいは稲刈り後)にサクラワセを播種し、翌春、サクラの咲くころ出穂する超極早生品種(2倍体)で、早春、田植え前の粗飼料確保が十分にできます。

サクラワセの特性概要

- サクラの咲くころ出穂する超極早生品種(2倍体)。
- 初期生育、耐寒性に優れ、早春の萌芽・伸長も良好です。
- 細茎・出穂茎数が多く、乾物率も高く、耐倒伏性も優れます。
- 収穫後の残株・残根量が少なく、後作の作業が容易で、田植えの支障も少ない。
- 短期・多収を狙える唯一の品種です。

サクラワセ水田裏作栽培成功のポイント

1. 適期播種がそのスタートです

- 岩手県花巻市が実用的な栽培の北限です。9月15日～20日が適期。9月25日までです。
- 福島県原町市では、10月10日～20日が適期。10月一杯までです。
- 積雪量が多く、根雪期間が長い地帯では、基肥の窒素は控えめとし、本葉6～7枚で越冬できるように播種します(9月下旬～10月上旬)。

2. 稲わら拡散を徹底します

- コンバイン収穫で切わらが厚い部分は発芽・定着不良となります。部分的に多い場合はフォークなどで均等にかきちらします。

3. 翌春の窒素追肥が収量確保の決め手です

- 早春に硫安で20～30kg/10 a を追肥すると増収効果大です。

3,053	マンモスB	406
3,880	エース	442
3,260	サクラワセ	528
生草収量	乾物収量	500
	(kg/10 a)	

岩手県水沢市
播種期：9月25日
播種法：立毛水稲へ3.5kg/10 a
収穫期：5月8日



収穫期のサクラワセ
福島県矢吹町('92. 5.12)